

## 平成26年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会の開催概要

- 1 開催日 平成27年2月19日(木) 10時00分～16時55分  
平成27年2月20日(金) 9時30分～15時00分
- 2 場所 関東森林管理局 2階大会議室
- 3 内容 第1日目(2月19日) 10時00分～16時55分  
・15課題の発表  
第2日目(2月20日) 9時30分～15時00分  
・7課題の発表  
・特別講演 「森林作業道の簡易で耐久性のある作設について」  
株式会社森林テクニクス 前橋支店長 奥谷由行氏  
・講評及び表彰式
- 4 参加者 発表者、職員、行政機関および一般来場者あわせて482名  
(スタッフを除く2日間延べ人数)
- 5 審査員 吉丸博志(多摩森林科学園長)、白石則彦(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)、谷本丈夫(宇都宮大学名誉教授)、福田栄子(栃木県林業振興協会女性部会長)、上野司郎(関東森林管理局次長)の5名
- 6 受賞結果 別紙のとおり
- 7 概要 発表は、国有林14課題(外部共同発表含む)、静岡県1課題、群馬県2課題、森林農地整備センター1課題、群馬県立農林大学校1課題、静岡県立農林大学校1課題、静岡県立天竜高校1課題、茨城県立大子清流高校1課題、計22課題の発表があった。  
部門別では、森林施業・事業・木材利用等に関する内容の技術開発部門が10課題、シカやクマ対策等に関する内容の森林保全部門が7課題、民国連携による森林整備や環境教育に関する内容の森林ふれあい部門が4課題、静岡署が一丸となって取り組んでいる「富士山山麓のヒノキ一斉大面積人工林における新たな施業」と題した特別発表が1課題。  
2日目の午後には、株式会社森林テクニクス前橋支店長の奥谷由行氏による「林作業道の簡易で耐久性のある作設について」と題した特別講演が行われ参加者は前回を上回り、立ち見の方が出るほどの盛況ぶりで、森林・林業に対する関心の高さが伺えた。

会場の様子



発表の様子



受賞者記念撮影

